

やた はな組

2017/10/26 (木)、第15回「やた はな組」を開催しました。
その時の様子を簡単に報告させていただきます!!

矢田圏域勉強会「やた はな組」を東住吉区南部文化コミュニティーセンターにて開催しました。

今回は「自立支援につながる介護予防ケアマネジメントについて」の勉強会として、矢田圏域で働かれているケアマネのみなさんに参加いただきました。

住み慣れたまちで元気で生活できるよう、生活機能の維持改善が図られるケアマネジメントには、リハビリテーション専門職との連携が必要です。

「老人保健施設たちばな」の日野上・作業療法士から、「作業療法と理学療法の違い」「老健の役割はどこにあるのか」を講義、近土・理学療法士から「症例報告」を行なっていました。



日野上作業療法士の講義

作業療法と理学療法の観察する視点の違い、本人の意向と身体機能の情報にもとづいて、目標と評価を繰り返し、自立支援につなげていく過程を分かりやすく講義、解説いただきました。

ケアプラン作成の上でも通じる点がたくさんあり、非常に参考になりました。



近土理学療法士の報告

最後に「Team—気軽さ」、お互いに気軽に相談できる関係性を構築していきたいと話されて、矢田圏域での多職種連携の機会になれたのだと思いました。

参加者の感想：「PTOTの役割がよくわかりました。アプローチをかけるポイントがわかり。ケアプランに役立てていきたいと思います。」

「リハビリが単なる機能訓練、回復ではなく、その方にとって必要な動作を通して、その方がその方らしくいられるように働きかけることで生活そのものを変えていくことにつながると改めて勉強になりました。」

「課題からほり下げる「原因を知る事で」ゴールに達成できる近道にもなることを事例を通して説明頂き理解する事ができました。」

「やた はな組」では、できるだけ参加された方々に、自分の考えを自分の言葉で話していただき、他の人の意見も聞き、何らかの答えは参加者が自ら導き出してもらいたいと考えています。

地域における支援の担い手として、一人一人が力をつけていただいたなら、矢田の地域にとって、何より心強い存在になっていただけたことと思います。

ご協力いただいた「老人保健施設たちばな」日野上作業療法士、近土理学療法士、参加いただいたケアマネのみなさん ありがとうございます。

次回「第16回 はな組」にも、みなさまの参加をお待ちしています。

「やた はな組」は、参加される皆さんの意見を反映させ、自由につくっていきたくと思っています。皆さんの要望や意見もお聞かせください!!



矢田地域包括支援センター
電話 06-6694-5552 E-mail houkatu@karan.or.jp